

一般社団法人日本キルギス経済交流協会 第6回理事会 議事録

1. 開催日時：2026年9月16日（水）10:00～11:00
2. 開催場所：東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル9F会議室
3. 出席者（敬称略）：
代表理事：樽床伸二
理事：梨木重宏、加藤彰一、四橋道徳、小林広暢、藤野岳、中村亮太 [6名]
社員：長本大将 [1名]
4. 議事の経過および結果

第1号議案 キルギス共和国との経済交流および政府関係機関との連携に関する件

キルギス共和国を取り巻く最近の状況、および当協会の活動状況について報告・協議を行った。夏季期間や国際会議等の影響もあり、一部の政府・関係機関との調整に時間を要している状況が共有された。また、駐日キルギス共和国大使の人事についても引き続き動向を確認していくこととした。

あわせて、8月に実施されたキルギス政府関係者との面談について報告が行われ、天然資源分野をはじめとする経済協力案件について意見交換を行った旨が共有された。現在、必要な許認可および関係書類の手続きを進めており、日本・キルギス双方の関係機関と連携しながら具体化を図ることを確認した。

また、今後予定されているキルギス政府関係者の来日に際し、関係省庁・機関との面談や意見交換の機会を設け、両国間の経済交流および協力案件の進展につなげていく方針を確認・承認した。

第2号議案 観光・貿易および民間ビジネス交流の促進に関する件

日本国内で開催される国際的な観光イベントへのキルギス側関係者および旅行事業者の参加予定について報告が行われた。これを機会として、キルギス共和国の観光資源の認知向上、日本からの観光交流の拡大、および両国の観光事業者間の連携促進を図ることを確認した。

また、日本企業の商品・技術を中央アジア地域で展開する複数の案件について進捗共有が行われた。農業・環境分野、工業製品、建設・インフラ関連等について、キルギス共和国を含む中央アジア地域での販売、代理店展開および事業進出の可能性を引き続き検討することとした。

国際情勢の変化により従来の商流や物流に制約が生じている一方、中央アジア地域における新たな事業機会も拡大していることから、当協会として関係企業・団体間の連携や情報提供を通じ、具体的な案件形成および事業推進を支援していく方針を確認した。

第3号議案 協会内の案件推進体制および会員対応に関する件

当協会に寄せられている各種相談・事業案件をより円滑に推進するため、案件情報を協会内で共有し、必要に応じて担当者またはチームを編成する体制について協議した。

現在、外国人材の受入れ、投資・事業進出、商品・サービスの海外展開等、複数の相談案件が進行していることから、特定の役員・担当者に案件が集中しないよう情報共有を進め、案件ごとに適切な対応体制を構築していくことを確認した。

また、会計状況について報告が行われ、その内容を確認した。あわせて、既存会員とのコミュニケーションを強化し、協会活動や今後の事業予定について適切に情報提供を行っていく方針を確認した。

第4号議案 今後の交流事業およびスケジュールに関する件

当初10月に予定されていた会員向け交流会については、諸般の事情を踏まえ、2026年12月1日18時から開催する方向で調整することとした。駐日キルギス共和国大使の人事状況等も確認しながら、キルギス側関係者を招いた交流機会とすることを検討し、詳細が決まり次第、会員にメール等で案内することとした。

また、10月下旬に予定されているキルギス共和国政府・議会関係者の来日に際しては、関係機関との調整および必要な対応を行い、今後の経済交流につながる機会として積極的に活用することを確認した。次回理事会については、2026年11月18日に開催する予定とした。

以上をもって本日の議事をすべて終了した。本理事会の議事の経過および結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長および議事録署名人がこれに記名押印する。

令和8年9月16日

一般社団法人日本キルギス経済交流協会 第6回理事会

代表理事 樽床伸二
議事録署名人 加藤彰一
議事録署名人 中村亮太